

# 製品安全データシート

作成:2016年03月08日

改訂:2023年03月08日

確認:2023年03月08日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	レボヘム PT
供給者の会社名称、住所及び電話番号	シスメックス株式会社 〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号 シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL : (078) 991-1911 (代表) FAX : (078) 991-1917
推奨用途	臨床検査測定用
使用上の制限	推奨用途以外への使用は禁止する

## 2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類	
物理化学的危険性	該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分2
皮膚感作性	区分1
環境に対する有害性	
水生環境慢性有害性短期(急性)	区分3
水生環境慢性有害性長期(慢性)	区分3
GHS ラベル要素	
危険有害性を表す絵表示	 GHS06
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H300 飲み込むと生命に危険 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H412 長期的影響により水生生物に有害
注意書き	
安全対策	P260 粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。 P264 取扱い後は手をよく洗うこと。 P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋を着用すること。 P330 口をすすぐこと。 P301+P310 飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。 P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 P302+P352 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
応急措置	

保管 廃棄	P333+P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、 医師の診察、手当てを受けること。
	P405 施錠して保管すること。
	P501 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。
GHS 分類に該当しない危険有害性	アジ化ナトリウムは鉛・銅などの金属と反応して爆発性化合物を生成する危険性があります。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物			
化学的特性に関する情報	アジ化ナトリウム<0.1% (w/w)を含む溶液を、凍結乾燥した白色粉体。			
危険有害成分及び主な成分に関する情報	シヨ糖	アジ化ナトリウム	リコンビナント ヒト組織因子	塩化カルシウム
化学名又は一般名	C <sub>12</sub> H <sub>22</sub> O <sub>11</sub>	NaN <sub>3</sub>	-	CaCl <sub>2</sub>
化学式	57-50-1	26628-22-8	-	10043-52-4
CAS 番号	>=10.00 -	< 2.50%	< 0.1%	< 0.1%
濃度(w/w)	<			
化審法 官報整理番号	1-482	(1)-482	-	1-176
労働安全衛生法 官報公示整理番号	-	-	-	-
化管法 政令番号	-	1-11 (令和 5 年 3 月 31 日まで)	-	-

### 4. 応急措置

吸入した場合	必要なら医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	接触部位を水と石鹼でよく洗う。かゆみ、炎症等の症状が出た場合は速やかに医師の診断を受ける。 汚染された衣類を再利用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	清浄な流水で十分洗眼し、必要なら医師の診断を受ける。
飲込んだ場合	水でよく口中を洗浄し、必要なら医師の診断を受ける。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	データなし

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	本製品の液体が蒸発し固化した状態のとき（アジ化ナトリウムの場合）：棒状放水、炭酸ガス、ハロゲン化物
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。 容器が熱に晒されているときは、移動させない。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 区域より退避させ、爆発の危険性により遠くから消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な空気呼吸器、保護服（耐熱性）を着用する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	全ての着火源を取り除く。
環境に対する注意事項	直ちに全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	関係者以外の立ち入りを禁止する。

二次災害の防止策	密閉された場所に立ち入る前に換気する。 環境中に放出してはならない。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
----------	---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	「8. 曝露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。 眼、皮膚または衣類に付けないこと。 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 飲まないこと。
接触回避	「10. 安全性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
安全な保管条件	容器は遮光し、冷所(2~8℃)に密栓して保管すること。
安全な容器包装材料	情報なし

## 8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	未設定												
許容濃度													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本産業衛生学会</th> <th>ACGIH</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水酸化ナトリウム</td> <td>【最大許容濃度】2mg/m<sup>3</sup></td> <td>TWA -, STEL C 2 mg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>アジ化ナトリウム</td> <td>未設定</td> <td>TWA -, STEL C 0.11 ppm; TWA -, STEL C 0.29 mg/m<sup>3</sup></td> </tr> <tr> <td>ショ糖</td> <td>未設定</td> <td>TWA 10 mg/m<sup>3</sup>, STEL -</td> </tr> </tbody> </table>		日本産業衛生学会	ACGIH	水酸化ナトリウム	【最大許容濃度】2mg/m <sup>3</sup>	TWA -, STEL C 2 mg/m <sup>3</sup>	アジ化ナトリウム	未設定	TWA -, STEL C 0.11 ppm; TWA -, STEL C 0.29 mg/m <sup>3</sup>	ショ糖	未設定	TWA 10 mg/m <sup>3</sup> , STEL -
	日本産業衛生学会	ACGIH											
水酸化ナトリウム	【最大許容濃度】2mg/m <sup>3</sup>	TWA -, STEL C 2 mg/m <sup>3</sup>											
アジ化ナトリウム	未設定	TWA -, STEL C 0.11 ppm; TWA -, STEL C 0.29 mg/m <sup>3</sup>											
ショ糖	未設定	TWA 10 mg/m <sup>3</sup> , STEL -											
設備対策	この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。												
保護具													
呼吸用保護具	適切な呼吸器保護具を着用すること。												
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。												
眼/顔面の保護具	適切な眼の保護具を着用すること。												
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用すること。												

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体(凍結乾燥品)
色	白色(凍結乾燥品)
臭い	データなし
融点/凝固点	データなし
沸点又は初溜点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし

pH	7.5(使用方法に従い溶解した場合)
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の保管及び取扱いにおいては安定。
危険有害反応可能性	銅・鉛・銀・水銀・二酸化水素と反応し、衝撃に敏感な化合物を生成する。酸と反応し有毒で爆発性のアジ化水素を生成する。
避けるべき条件	酸との接触を避ける。
混触危険物質	銅・鉛・銀・水銀・二酸化水素、酸
危険有害な分解生成物	衝撃に敏感な化合物、アジ化水素

## 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	計算結果が 23.4714797mg/kg のため、区分 2 に該当する。
経皮	区分に該当しない。
吸入: 気体	GHS 定義による気体ではない。
吸入: 蒸気	区分に該当しない。
吸入: 粉じん、ミスト	区分に該当しない。
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器感作性	区分に該当しない。
皮膚感作性	二ナトリウム＝マレアート $\geq$ 1%のため、区分 1 に該当。
生殖細胞変異原性	区分に該当しない。
発がん性	区分に該当しない。
生殖毒性	
生殖毒性	区分に該当しない。
生殖毒性・授乳影響	情報なし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分に該当しない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	情報なし。
誤えん有害性	情報なし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性短期(急性)	(毒性乗率 $\times$ 100 $\times$ 区分 1)+(10 $\times$ 区分 2)+区分 3 が濃度限界 (25%) 以上のため、区分 3 に該当。
水生環境有害性長期(慢性)	(毒性乗率 $\times$ 100 $\times$ 区分 1)+(10 $\times$ 区分 2)+区分 3 が濃度限界 (25%) 以上のため、区分 3 に該当。
残留性/分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

---

### 14. 輸送上の注意

#### 国際規則

航空規制情報(ICAO/IATA)

輸送危険物に該当しない

海上規制情報(IMO)

輸送危険物に該当しない

海洋汚染物質

該当しない

MARPOL73/78 付属書Ⅱ及びIBC

該当しない

コードによるばら積み輸送される液体物質

#### 国内規制

陸上規制情報

輸送危険物に該当しない

海上規制情報

輸送危険物に該当しない

航空規制情報

輸送危険物に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

---

### 15. 適用法令

#### 適用法令

医薬品医療機器等法

体外診断用医薬品

労働安全衛生法

該当しない

化学物質排出把握管理促進法  
(PRTR法)

アジ化ナトリウム(第1種 政令番号1-11)  
(令和5年3月31日まで)

毒物及び劇物取締法

該当しない

化審法

該当しない

消防法

該当しない

水質汚濁防止法

該当しない

水道法

該当しない

下水道法

該当しない

海洋汚染防止法

該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

該当しない

---

### 16. その他の情報

一般的注意

ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。

その他の情報

[注意] 本 SDS は JIS Z7253:2019 に準拠して作成しています。  
JISZ7252:2019 に準拠して GHS 分類を実施しています。

参考文献

EU CLP Regulation, AnnexVI

略語

化管法:特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

化審法:化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

---